

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	合唱
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん しんこくりつけきじょううんえいざいだん 公益財団法人 新国立劇場運営財団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規		
制作団体所在地	〒151-0071		
	東京都渋谷区本町1丁目1番1号		
電話番号	03-5351-3011(代表)	FAX番号	03-5352-5739
ふりがな 公演団体名	しんこくりつけきじょうがっしょうだん 新国立劇場合唱団		
代表者職・氏名	理事長 尾崎元規(公益財団法人 新国立劇場運営財団)		
公演団体所在地	〒151-0071		
	東京都渋谷区本町1丁目1番1号		
制作団体 設立年月	1993年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	会長:十倉 雅和 理事長:尾崎 元規 芸術監督:大野 和士(オペラ)	会長1名、顧問6名、評議員25名、理事20名(うち理事長1名、常務理事3名)、監事2名、会計監査人2名、芸術監督3名、研修所長3名、職員141名等	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	高橋 徹
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	総務部長 苫米地 令

<p>制作団体沿革</p>	<p>1993年4月 財団法人第二国立劇場運営財団設立 1995年4月 劇場名が新国立劇場と決定し、同時に名称を財団法人新国立劇場運営財団と改める。 1997年10月 新国立劇場オペラ「建・TAKERU」にて開場、以後オペラ・舞踊・演劇といった現代舞台芸術の自主公演を継続的に上演する。 1998年4月 1998/99シーズンより新国立劇場合唱団を組織、オペラ「蝶々夫人」出演 2012年4月 公益財団法人に移行。公益財団法人新国立劇場運営財団となる</p>						
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2008年6月、2011年12月、2015年11月 三鷹市明星学園小学校音楽鑑賞会 2013年5月 松本市内全中学校 芸術鑑賞会 2015年6月 上田市内高等学校 芸術鑑賞会 2016年6月 長野市内高等学校 芸術鑑賞会 2017年5月 長野市内中学校 芸術鑑賞会 2018年6月 松本市内小学校 芸術鑑賞会</p> <p>2009年度より現在まで、文化庁本事業に参加</p>						
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>2010年1月 広島県広島特別支援学校 2012年9月 青森県立青森若葉養護学校 2013年2月 北海道白糠養護学校 2015年9月 神奈川県立中原養護学校、愛知県立豊橋特別支援学校 2016年6月 神奈川県立中原養護学校 2017年11月 滋賀県立野洲養護学校</p>						
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p>	<p>有</p>				
		<p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
		<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p></p>				
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1018 1653 1098 1686">ID:</td> <td data-bbox="1098 1653 1447 1686"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1018 1686 1098 1729">PW:</td> <td data-bbox="1098 1686 1447 1729"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:							
PW:							
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p>	<p></p>				
		<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p></p>				
		<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1018 1908 1098 1942">ID:</td> <td data-bbox="1098 1908 1447 1942"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1018 1942 1098 1975">PW:</td> <td data-bbox="1098 1942 1447 1975"></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:							
PW:							

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新国立劇場合唱団】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	文化芸術による子供育成総合事業 特別合唱コンサート					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	新国立劇場合唱団 文化芸術による子供育成総合事業プログラム(小学校 低学年・中学年・高学年 及び中学生向け) 公演時間(90分)					
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>◎各校の校歌演奏(混声四部合唱に編曲):演奏会の導入に当該校の校歌を合唱で演奏することによって、プログラムへの関心を高めます。身近にある歌が合唱になることによって変化することによって歌の多様性を感じていただくことも狙いのひとつとします。</p> <p>◎日本の歌・世界の歌・オペラの世界 児童に親しみのある曲を合唱で聴くことによって歌うことの楽しさを感じていただきます。高い演奏技術で世界的に評価されている「新国立劇場合唱団」の演奏で様々な合唱を堪能していただきます。その演奏をもとに歌や合唱の歴史、クラシック音楽やオペラの話を取り入れていきます。</p> <p>新国立劇場合唱団の演奏の基盤である「オペラ」においては、小学生に対して「歌いながらする劇」というような解説、中学生に対しては歴史・成り立ちを簡単に説明するとともに、オペラが「音楽」「演技」「言葉」などの複合要素で構成されている舞台芸術であることも理解していただきます。</p> <p>○曲目:童歌「ほたるこい」(女声合唱) 民謡「ソーラン節」(男声合唱) 各地域に伝わる民謡や唱歌を合唱に編曲しての演奏 ベートーヴェン作曲「交響曲第九番」より抜粋 マスカーニ作曲「カヴァレリア・ルスティカーナ」より オレンジの花は香り(混声) ワーグナー作曲「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱(女声) ウェーバー作曲「魔弾の射手」より 狩人の合唱(男声) ヴェルディ作曲「椿姫」より 乾杯の歌(混声)</p> <p>◎総合ワークショップ～合同演奏:事前に行うワークショップを基に「全校生徒」で各校の「校歌」の歌唱指導、合唱指導を行います。事前のワークショップから引き続き発声方法の指導、その後各校生徒児童にとって将来にわたって歌われるであろう「校歌」(各校の事情により愛唱歌でも可能)の歌唱、合唱指導となります。</p> <p>◎アンコール曲(曲目未定) ※曲目は変更の可能性があります。</p>					
演目選択理由	歌の歴史的な解説や様々な種類の声を使った楽曲を横断的に取り上げることにより、音楽表現に興味をもっていただき、更にオペラでは「舞台芸術」を理解し、表現することの意味や音楽を聴く楽しさを体験してもらいたいと考えております。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	演奏会の冒頭では「校歌」を混声四部合唱に編曲して演奏いたします。プログラム後半の総合ワークショップ～合同演奏では各校校歌(愛唱歌も可能)を、指導しながら一緒に演奏することにより、より身近に音楽の素晴らしさを体験していただきます。					
出演者	指揮:三澤洋史・富平恭平・水戸博之 ピアノ:平塚洋子・水野彰子 合唱:新国立劇場合唱団 30名					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 32 名 スタッフ: 5 名 合計: 37 名		機材等 運搬方法		積載量: 1.0 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台	

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	◎本公演を午前中に開催実施される場合は「前日仕込み」となります。					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時～14時30分	10分	14時30 ～15時30分	16時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		10名～1,000名			
	本公演		10名～1,000名			
ワークショップ 実施形態及び内容	姿勢や顔の表情、呼吸方法から説明をして基本的な発声の指導を行います。わかりやすい解説、圧倒的な声量と高度な技術を手本として指導してまいります。通常の話し声とオペラの発声との違い、本公演で取り上げる校歌や愛唱歌を題材として自分自身が楽しく歌うこと、仲間と歌うことが楽しめるように指導を行います。自分が声を出すこと、仲間のパートを意識すること、「一緒にものごとを作り上げることの楽しさ」というような話題もあわせて行います。					
ワークショップ 実施形態の意図	この演目では公演自体の総合ワークショップが非常に大きな位置を占めるプログラムとなっております。導入となる事前ワークショップとその仕上げとなる公演に含まれる総合ワークショップにより、その後の校内行事でも「校歌」(愛唱歌)を楽しく歌うことが出来るようになっていただき、学校生活を生き生きと過ごせるような体験をしてもらうよう考えております。					
特別支援学校での 実施における工夫点	学校側の諸事情を汲み取り柔軟に対応します。日常の生活状況をおうかがいしながら「歌」を楽しむ工夫をしてまいります。生徒に触れる形で演奏し、声を出すことだけでなくリズムを取り入れる工夫をさせていただきます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

2021/2022シーズン 新国立劇場合唱団 メンバー名簿

契約メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	岩本麻里	石澤希美	高嶋康晴	秋本健
2	岩本留美	小酒部晶子	寺田宗永	上野裕之
3	黒澤明子	河合美紀	中川誠宏	大森いちえい
4	近藤宏美	四家緑	二階谷洋介	佐藤勝司
5	塚村紫	長澤美希	廣田亮	タン・ジュンボ
6	直野容子	中野優子	真野郁夫	千葉裕一
7	前川依子	村山舞	渡辺文智	徳吉博之
8	丸山則子	吉田理絵	渡辺正親	細岡雅哉
9	龍三佳代			
	9名	8名	8名	8名
				合計33名

登録メンバー

	ソプラノ	アルト	テノール	バス
1	石田亜希子	垣内江利子	阿部修二	飛鳥井亮
2	益文美	北野有希依	石塚幹信	井出壮志朗
3	大音絵莉	北村典子	岩本識	香月健
4	熊坂真里	熊井千春	大木太郎	金子宏
5	肥沼諒子	小林昌代	大久保憲	川村章仁
6	込山由貴子	佐々木昌子	黒田大介	木谷圭嗣
7	佐藤路子	鈴木涼子	東海林尚文	小林宏規
8	穴戸茉莉衣	竹本あづみ	高橋拓真	佐藤哲朗
9	福留なぎさ	立川かずさ	對馬紘也	下瀬太郎
10	藤永和望	西本会里	西沢健吾	杉尾真吾
11	松原典子	野田千恵子	根木秀雄	田村洋貴
12	真野路津紀	花房英里子	橋本大樹	照屋睦
13	門口千絵美	福間章子	長谷川公	塙翔平
14	山中さゆり	前田祐佳	半田爾	保坂真悟
15	吉田桃子	増田弓	丸山哲弘	前田進一郎
16	和田しほり	松浦麗		山本悠尋
17	渡邊早貴子	丸山真木子		山本竜介
18	渡邊仁美	横町あゆみ		龍進一郎
19				
	18名	18名	15名	18名
				合計69名

令和3年度

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごう じぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゆんかいこうえん じぎょう
— 巡回公演事業 —

しんこくりつげきじやうがっしやうだん
新国立劇場合唱団

がっしやうこうえん
〈合唱公演〉



撮影：三枝近志

ぶん かげいじゆつ こどもいくせいそうごう じぎょう じゆんかいこうえん じぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —」

わ くに いちりゆう ぶん かげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた
ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え こども はっそうりよく
舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつ か いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじやう もくてき
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的
としています。

じぜん じゆんかいこうえん じぎょう
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演
では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

プログラム

■ 校歌演奏 (混声四部合唱)

■ 日本の歌・世界の歌・オペラの世界

日本の歌

* 皆さんが住んでいる日本ではたくさんの素晴らしい曲が歌われています。いつもは何気なく聞いているテレビから流れている曲だけではなく、小さいときに歌った童謡や昔から歌われている唱歌、また地域によっても違いがある民謡。学校生活の中でも歌う機会がたくさんあります。歌詞を読むだけでも色々な発見がありますので、様々な歌に出会い、心を豊かにしてください。

● わらべうた (小倉朗作曲) 「ほたるこい」

日本のわらべうたとして知られている曲を女声合唱で演奏します。輪唱の形式を基本に取り入れ、全体を三つのパートに分ける「三部合唱」にて演奏します。ほたるがそこで光を発している様子が大変うまく表現されている曲になっています。



● 民謡 (清水脩作曲) 「そうらん節」

北海道の民謡です。漁師達がかけごえを出し合っただんせいの漁をする様子を歌っています。男声合唱ならではの力強い歌声を聴くことが出来ます。「男声四部合唱」は合唱の響きに厚みが出来て勇壮な漁の様子が表現されています。

● 三澤洋史作曲 各都道府県に伝わる歌や民謡を合唱にしてみました

新国立劇場が今回の演奏会のためにそれぞれの都道府県で歌われる歌やメロディーをもとにした合唱曲を作ってみました。皆さんが生活している地域でも親しまれている曲があると思います。もしかしたら聞き覚えのあるメロディーが聞こえてくるかもしれませんが合唱にして演奏すると普段と違った新しい発見を見つけることが出来ることと思います。

世界の歌

* 日本以外の国々で歌われている歌の一部をご紹介します。日本とは違う歴史や風土、人々の習慣によって、国ごとに特徴のある曲が生まれます。そのような国々を訪れる機会があるときは是非そこに流れる歌に耳を傾けてみて下さい。ここではドイツの曲を取り上げます。

● ベートーヴェン作曲 「交響曲第九番」より第四楽章

ベートーヴェンはドイツで生まれた作曲家です。「運命」という五番目に作曲された交響曲は、よく知られていますがその他にも優れた作品が多く、日本では年の暮れに演奏される交響曲第九番は「歓喜のうた」と言われ、喜びをたからかに歌いあげます。



オペラの世界

*オペラという言葉はイタリア語で、日本語にすると「歌劇」といいます。歌いながら芝居をしたり踊ったりもします。台詞を歌で歌いながら、お話が進んでいきます。歌や芝居、踊り、オーケストラ、舞台の大道具や装置、衣裳や、照明などいろいろなことを舞台上で行います。合唱団のメンバーは農民や貴族、狩人や町の人々など様々な役を演じます。

●ワーグナー 作曲 「さまよえるオランダ人」より 糸紡ぎの合唱

ワーグナーは神話に基づいたオペラをいくつも作曲しました。この作品では神の罰で海をさまよう幽霊船の船長のオランダ人が現れます。このオペラの中では不気味な船乗りの合唱の部分なども有名ですが、この曲はその中でも一転して楽しい雰囲気を感じさせる内容で、船乗りたちの帰りを待ち焦がれる娘たちが糸を紡ぎながら歌います。くるくる糸車を回す様子を聞くことができます。ドイツ語で歌います。

●ウェーバー 作曲 「魔弾の射手」より 狩人の合唱

魔弾というのは「魔法の弾丸」、猟銃の弾のことです。射手は撃つ人、つまり「魔弾の射手」は「魔法の弾を撃つ人」という意味です。村一番の狩人を決める射撃大会の日、狩人たちが狩の素晴らしさをたたえて勇壮に歌います。ドイツ語で歌います。

●ビゼー 作曲 「カルメン」より 行進曲と合唱

美女カルメンをめぐる物語です。人気者の闘牛士エスカミーリオが出場する闘牛の試合の日、広場に集まってくる市民たちがこれから始まる試合を楽しみに歌います。ぞくぞくと集まってくる闘牛士たちに手を振って出迎えます。フランス語で歌います。

■学校との合同演奏

学校校歌、学校希望曲など

皆さんが学校で歌っている曲を私たち新国立劇場合唱団と歌いましょう。わからないことは近くに

いる新国立劇場合唱団の合唱メンバーに歌い方を教えてもらってください。

ワークショップでお話ししたことを覚えていらっしゃいますか？肩に力が入らないようにしていい姿勢で立ってください。そしてたくさん息を吸うときにも力が入りすぎないように注意してください。遠くにいる人に向かって頭の後ろから投げするような気持ちで声を出しましょう。

校歌を歌う場合は、歌詞の内容を今一度思い出してみてください。そして自分の教室、友達や先生などを思いながら歌うことがあってもいいと思います。

合唱は、一人ではなく大人数で歌う共同作業です。一人で何かすることより、より多くのことを表現する音が出ます。一人でやることより工夫が必要になりますが、歌う人が一人でも増えるとその分だけ、楽しいことを分け合うことができます。

いい顔をすることを忘れないでくださいね。

しんこくりつげきじょう
新国立劇場は、オペラ、バレエ、ダンス、演劇という現代舞台芸術のためのわが国唯一の国立劇場として、1997年10月に開場した。しんこくりつげきじょうがっしょうだん
新国立劇場合唱団も年間を通じて行われる数多くのオペラ公演の核を担う合唱団として活動を開始した。メンバーは100名を超え、しんこくりつげきじょう
新国立劇場が上演する多彩なオペラ公演により年々レパートリーを増やしている。個々のメンバーは高水準の歌唱力と演技力を有しており、合唱団としての優れたアンサンブル能力と豊かな声量は、公演ごとに共演する出演者、指揮者、演出家、スタッフはもとより、国内外のメディアからも高い評価を得ている。2007年より、新国立劇場で上演される通常のシーズン公演の出演に加え、劇場外からの出演依頼の声にこたえて外部公演への出演を開始。コンサートではNHK交響楽団をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、オーケストラ・アンサンブル金沢などの国内主要オーケストラと共演。海外のオーケストラとはロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、トリノ王立歌劇場管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演を果たした。また東京文化会館、東京オペラシティ、東京芸術劇場、横浜みなとみらいといった国内のホールからの出演依頼、毎年1月3日の「NHKニューイヤーオペラコンサート」の出演、文化庁委託事業「文化芸術による子供育成総合事業」で学校巡回公演など、幅広く活動の場を広げている。

し
指 揮：とみひらきやうへい
富平 恭平
ふる せ やす こ
ピアノ：古瀬 安子

実施日程	都道府県	実施校名
2021年11月2日（火）	北海道	北斗市立大野中学校
2022年2月25日（金）	北海道	小樽市立北陵中学校

し
知っていますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

ねん
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

にほん
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C29	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	新国立劇場合唱団				制作団体名	公益財団法人 新国立劇場運営財団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	2室	条件	出演者が入れるスペースと着替えのために、カーテンなどで遮蔽出来る場所				不可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *		2tトラック	1台				不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		2tトラック					不可	
	搬入車両の横づけの要否 *		要					不可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *		10m以内					不可	
	搬入経路の最低条件		2階以上の場合は、お手伝いを要する 又は、スタッフの増員が必要です。					可	
	理由		・ひな壇等舞台大道具等の搬入をするため					/	
	設置階の制限 *		問わない					—	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		可	
WSIについて	参加可能人数	800名程度まで					可		
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *				可		
	所要時間の目安 単位:分	90分(休憩含)					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/		
	鑑賞可能人数		800名程度まで					可	
	舞台設置場所 *		ステージ上・フロアの両方					不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	7m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		要				不可	
		舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態				不可	
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由	太陽光で影響がある場合を除く			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			不可	
		ピアノの事前調律 *		要				不可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				不可	
	公演に必要な電源容量		特になし	※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項							応相談	
ピアノはフロアに下ろしていただき、本公演前に調律をお願いいたします。							不可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

